

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

September / 12 / 2014 # 18

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題  
『【夏】が終わりましたね』
  - [2] Pepeのひとりごと  
『聴くこと』
  - [3] おすすめ動画  
『Instrument: Bass Trombone』  
『Instrument: Horn』
  - [4] 演奏のヒント！  
『喉が締まっている??』
  - [5] これを吹きたい！ 【最終回】  
『Morceau Symphonique (Guilmant)』
  - [6] 編集後記
- 

## [1] 旬な話題、気になる話題

『【夏】が終わりましたね』

吹奏楽をやっている人にとっての最も重要な季節【夏】が今年も終わりましたね。

吹奏楽コンクールに出場されたみなさんは、悔いのない演奏とともに暑い夏を楽しむことができましたか？

「いい結果を得るために努力をする」ということはとても大切なことなので、そういうモチベーションを得るためにコンクールを利用することはいいと思うのですが、僕個人としては、「結果がすべて！」と考えて挑むコンクールにはあまり賛成できません。

スポーツなどの競技ならば、賛成です。

しかし、音楽や芸術には「完全に正しいもの」「正解」というものは存在しません。

なので、コンクールの結果のみに対して音楽を作るのはナンセンスだと僕は思っています。

結果より、「いい演奏がステージでできたかどうか」が大切だと思います。それを実現させるために日々の練習があるのでからね！：)

いい演奏とは、聴いている人にその曲のことがうまく伝わる演奏、または聴くことによって何かを感じてもらえることができる演奏、のことだと僕は思っています。

そうするためには、もちろんたくさんのテクニックが必要になってきます（決して気持ちだけではできません。笑）。

なので、日々の努力（コンクール前だけではなく。笑）を怠らないように！

もちろん、コンクールでいい結果を求める、それにむかって頑張る、いい結果を得てすごく喜ぶ、ということはいいことだと思います。僕が伝えたいことは、出た結果「のみ」を求めないということです。

（自分自身の判断で）演奏があまりよくなくてもいい結果が出ることもあれば、その反対もあります。

その場合に、結果に関係なく自分の演奏に対して反省したり喜んだりしてもらいたいと思います。

演奏技術というのは、楽譜に書かれた曲に命を吹き込むためのものだと僕は考えています。

その曲が、その曲らしく呼吸をして聴衆まで届くかどうか、それをうまくやるために毎日の努力が必要になってきます。

コンクールで燃え尽きてしまった人も、ショックを受けてしまった人も、またこれからですよ！！

前を向いて、気持ちも前向きにまた音楽を楽しんで毎日を過ごしていきましょう～！：)

全国大会まで進めた人は、今の時期にもう一度自分や自分たちの演奏を見つめ直し、良くなる場所を探し直してみましよう。

夏前の自分と、県大会、支部大会を経た今の自分とでは、自分では

気づいていない成長が必ずあると思います。  
その成長した自分（自分の耳？）でもう一度自分たちの演奏を見直して  
みてくださいね。  
そうすると、全国大会でより良い演奏を目指すことができると思います！！

## [2] Pepeのひとりごと

### 『聴くこと』

音楽を勉強する上で、「聴くこと」はとても大切なことです。  
僕自身も、（興味のあるものからでしたが。笑）楽器を吹き始めて  
からいろいろなものを聴き続けてきました。

一つ一つ挙げていくととっても細かく多くなってしまうのでここでは  
やりませんが、自分の演奏にもものすごく影響を与えることは確かです。

この夏、とても残念なことを耳にしました。  
吹奏楽コンクールに出ているとある学校の吹奏楽部では、なんと  
自分たちが演奏しない日（演奏した翌日以降）のコンクールで、他の  
学校の演奏を聴くことを顧問の先生が許可しなかったということです。

これを聞いて、僕は愕然としました（泣）。  
そんなことがこの世で起こっているなんて・・・。 :(

先生の言う理由が「数週間後にあるコンサートの練習のため」だそう  
なのですが、コンクールでたくさんの同じ年くらいの子たちの演奏を  
聴くほうが強い衝撃で、今後の子どもたちの成長に大きく影響を与える  
ことを理解していないのでしょうかねえ（涙）。  
モチベーションの上がり具合などは、他からの影響と比べても比較に  
ならないと思います。

コンクールというのは、どの学校の子たちもたくさんの時間と努力を  
費やして作り上げてきた演奏を披露します。  
中学、高校生たちにとってそれらの演奏を聴くことは、ある意味一番の  
勉強材料になると思います。  
その機会を生徒たちから取り上げてしまう顧問がいるとは、本当に残念  
です・・・（コンサートが翌日など、本当に切羽詰まっている場合は  
別ですよ）。

コンクールで同年代の子たちの精一杯の演奏をたくさん聴くことは、  
平日練習の2、3週間分の効果があると言っても過言ではないと思います。

その学校でやっている子たちにはどうしようもないことですが、いい演奏も

あまりよくない演奏も全て含めて、たくさんの演奏を聴いて将来の自分の財産となることをいろいろと勉強していつてもらいたいと思います！！；)

P.S.

ちなみにその学校は、コンクールの結果発表も部員の幹部数人のみ参加で、他の部員は結果発表の場に行くこともできなかったそうです。

ああ、それでどのようにモチベーションを持ち続けるのでしょうか・・・。  
近い将来に、いろいろなことが改善されていきますように！

### [3] おすすめ動画

『Instrument: Bass Trombone』

<https://www.youtube.com/watch?v=UJOa3t2OuPc>

今回は、フィルハーモニア管のメンバーが楽器の説明をしている動画を2つ紹介します。

1つ目はBass Trombone。

実はこの動画で説明&演奏しているChristianは、2000年のヨーロッパユーース吹奏楽団でのポルトガル・ツアーと一緒に演奏した仲間の一人なんですよ！；)

その時からすごく上手でしたが、BBCなどの有名オーケストラを経て、今はフィルハーモニア管で吹いています。

素晴らしい！！；)

『Instrument: Horn』

<https://www.youtube.com/watch?v=cK0UFgnrlqY>

フィルハーモニア管のメンバーが説明&演奏している動画の2つ目は、フレンチ・ホルンです。

ここでは、ナチュラル・ホルンのことも説明していて少し演奏もしているので、ここで紹介しますね。

東京や大阪などの大きな街に住んでいないと、なかなかナチュラル・ホルンの演奏に接することはできませんよね。

この動画では右手の動きも見れるので、ホルン吹きのみなさんの参考にもなると思います。；)

まだ他の楽器の動画もあるので、興味を持った人はぜひ見てみてくださいね！

### [4] 演奏のヒント！

『喉が締まっている??』

楽器を吹いていて、「喉（のど）が締まっている」という注意をされた

ことはありますか？

音が潰れていたり、響きがあまりないときなどにこうアドバイスされることが多いと思います。

その時、この症状に対処するために何をしますか？

きっと、多くの人は喉を開ける（広げる）ことをすると思います。もちろん、喉が締まっている状態ではいい音は出ないので間違っは  
いけません。

しかし、そこで注意してもらいたいことがあります。

それは、喉を開けすぎて（広げすぎて）いないかどうか。

結論を先に書くと、楽器を演奏する時の喉の状態は、リラックスした状態（ムダな力みがない状態）で、閉じても開いてもいない状態です（少し詳しく書くと、意図的に閉じても開いてもいない状態です）。

みなさんよく知っているように、力が入ってしまって喉が締まっている状態はよくありません。

しかし、そうならないようにしようと無理やり喉を広げると、それもまた力んでいる状態になってしまうのです。

喉を広げようとする、喉には力が入ります（力を入れないと広がりませんからね。笑）。

いい状態は「自然体」です。

どういうことかということ、締めようとも広げようともしていない状態のことです（笑）。

・・・よくわからない人は、まず思いきり喉を締めてみてください。その後、その締めた状態を解いていくと、「自然体」に戻るでしょう。

楽器を演奏するとき、それ以上に喉を広げる必要はありません。意識して広げようすると、（広げるために）喉に力が入ってしまい、結果として体の他の部分にも力みが出てきてしまいます。

このことに、ぜひ注意してみてくださいね。

「喉を広げる」という言葉を使うのをやめて、「喉を締めていない状態」または「意図的に広げていない状態」だと認識してみましよう。

[5] これを吹きたい！ 【最終回】

## 『Morceau Symphonique (Guilmant)』

今回は、Tromboneのオリジナルの曲です！！；)

ソロ・コンクールなどでも聴くことの多いGuilmant作曲の

「Morceau Symphonique」です。知っている人、聴いたことある人、吹いたことある人も多いのではないのでしょうか？

Euphoniumでもよく演奏される曲ですね。

僕も、初めて吹いたのはEuphoniumでした（笑）。

この曲は、おおまかに分けてゆったりなところ（Andante sostenuto）と軽快なところ（Allegro moderato）があります。

まず、はじめはゆったりと始まりますね。

最初の2音は慣れるまでは外しやすいと思いますが、前奏の響きをよく聴いて和音を感じながら吹いてみると当てやすくなると思います。

あと、吹く前のブレスは自分が吹こうとしているテンポで取るように。口も、最初の音の口で息を吸う感覚でやってみてください。ブレスを取ってから口をセットしていると、当たる確率がなかなか上がりませんよ。

最初のゆったりした部分をすべて見て、音量のコントロールのプランを立ててみましょう。

どこからどこまでがどのくらいの音量で、どこでどう変わって、そのあとどこでどの音量まで戻って・・・などのように具体的にプランを立てると、ブレスの位置も決めやすくなりますよ。

あと、付点と16分音符のリズムにも気をつけましょう。

よくあるパターンとしては、続けてそのリズムを吹くときに3つ目以降のリズムが甘くなったりしてきます。

常に同じように吹けているのかをしっかりとチェックしながら練習していきましょう。

フラットが多くて音程がなかなか安定しないこともあると思います。

その時には、メロディーの中での同じ音の音程をよく聴いてまずそれらの音程を「揃える（整える）」ようにしてみてください。

頻繁に出てくる音の音程が安定してくると、他の音程のどこが具体的に問題になっているのかがわかりやすくなりますよ。

カデンツは、いろいろな人の録音を聴いて、自分なりのカデンツを演奏してみましょう！！

僕もCDに入れているので、ぜひ買って聴いてみてくださいね～！！；)

軽快なところは、まずテンポ設定を間違わないように。  
世の中にはいろいろなテンポの演奏が存在すると思いますが、  
大切なのは「自分にとって演奏可能」で、かつ「音楽的に演奏できる」  
かどうかです。

自分の技術とこの曲に対して持っているイメージとのバランスを  
上手くとってテンポを決めましょう。

オクターヴを駆け上がるパターンがこの曲の中で何回か出てきますが、  
ちゃんと最初の音と上がりきった音が1オクターヴの和音の中に  
ハマっているかどうかを確認しながら演奏してみてくださいね。  
そうすると、吹いてても聴いてても感じられる気持ちよさが増すと  
思いますよ。

あと、軽快なところは3拍子になっています。  
1拍目の持っている重さと、3拍子特有の円運動を「常に」意識  
しながら音楽を作っていきましょう。

下降形の8分音符は短くなり過ぎないように、常に音色が存在  
するように気をつけましょう。

その後のゆったりとした部分は、自分の音だけを聴かないで、  
常にまわりで鳴っているコード（和音）と交じるような感覚で  
演奏してみてくださいね。

あとは、最初のほうにも書きましたが、同じ音を同じ音程で  
ちゃんと吹いているのかを確認しながら演奏してみましょう。  
それだけでかなり安定してくると思いますよ。

高い音（C#）ですが、高い音が苦手な人にとってはどうしても  
その音のことだけを考えてしまいますが、ただ「当てる」だけ  
では十分ではありません。

下の音から

E - (G#)C# - (D#)E, E - C#

と、これらの音程を常に響かせながら演奏してみてくださいね。  
そうすると、「当てる」だけではなく、「当たった場合はハマって  
いる」といういい状態になると思いますよ！ :)

最後の部分ですが、3連符のところは確実にすべての音が聞こえる  
ように演奏してみてください。

息は「ずっと吐きっぱなし」ですよ！！

最後のトリルは、できない人は無理にする必要はないと思います。  
最後まで美しさを保つようにしてみましょう。

ロータリーのレバーでトリルをするのもひとつの方法です。

リップトリルが苦手な人でトリルをやってみたい人は、ロータリー

のレバーを使ってもやってみてくださいね。

最後の最後は、しっかりと吹くことも大切ですが、まわりの音を聴いてハーモニーの一部としても捉えられると、なおいいと思います！！  
ぜひやってみてくださいね！！

---

#### 編集後記

前号の発行以降、特に要望がありませんでしたので、5つ目のトピック『これを吹きたい！』は今回をもって終了とします。

もし何かの曲についてこういう形でやってほしいというものがあれば、気軽にメールで連絡してきてくださいね！

レギュラー・トピックとしてはもうやりませんが、単発の要望に応じる形するのは「アリ」だと考えています。 ;)

ずいぶん秋らしくなってきたと思ったら、全国各地で大雨が降り、大きな被害が出ています（涙）。

人は到底自然の力にはかなわないので、こういう場合は被害が出ないようにどうするのか、またはそれ以上被害を広めてしまわないようにするにはどうしたらいいのか、と考えながらみんなで協力していくしかないと思います。

これ以上ひどい災害が起こりませんように！

---

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)